

## 日本国富山県とロシア連邦沿海地方 との友好提携協定書

日本国富山県とロシア連邦沿海地方は、多年にわたる友好交流を基礎に、相互の理解を深め、友好関係をさらに推進することを確約し、ここに友好提携の協定を締結する。

双方は、学術、芸術文化、教育、スポーツ、経済などの各分野の広範な交流を通じて双方の友好関係を一層発展させるよう努めるものとする。

双方は、この協定が、富山県と沿海地方を結びずなとなり、かつ、日露両国の友好関係の強化と国際社会の平和と安定に貢献することを確信する。

この協定は、ともに同等の効力を有する日本語及びロシア語により本書各2通作成され、それぞれ署名当事者が日本語及びロシア語による本書を各1通保有する。

1992年8月26日

日本国	ロシア連邦
富山県知事	沿海地方知事
中 沖 豊	ヴラジミール・S・クズネツォフ

はロシアセミナーと題して、小川・ロシア東欧経済研究所副所長の司会のもと、マルチノフ所長（ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所）、ニールン支局長（ワシントン・タイムズ東京支局）、矢野・京都大学教授が今後の日露関係について活発な意見交換を行い、午後からは環日本海知事サミットと題して、飯田・NHK解説主幹の司会のもと、王（ワン）主任（中国遼寧省人民代表大会常務委員会）、権（クワン）地域経済局長（韓国江原道）、クズネツォフ知事、中沖知事が今後の地域レベルの国際的交流について意見交換し、日本海が豊かで文化的な「平和と発展の海」となるよう協力していく旨の富山アピールが採択されました。

きたい。（クズネツォフ知事）とそれぞれ提携の意義について述べました。これで、両県地方の間では伏木富山港とウラジオストク商業港との友好提携及び富山空港とウラジオストク空港との友好提携に加えて行政レベルで三つの友好提携が整い、今後は地域レベル、草の根レベルの交流がますます活発に行われるものと期待されます。

なお、前日の八月二十五日には、富山市の名鉄トヤマホテルで「富山国際地域交流シンポジウム」が開催され、約三〇〇名の聴衆が会場を埋めました。午前中



人口	226万人
面積	166,000km <sup>2</sup>
気候	モンスーン型
主要都市	中心都市 ウラジオストク市
地方結成	1938年10月20日

### 【沿海地方の概要】

沿海地方はロシア連邦極東地域の東南端に位置し、日本海沿岸やウスリー川一帯等の平野部を除くと一面山脈、丘陵によっておおわれており、ウスリータイガと呼ばれる森林や山岳が同地方の80%を占める。沿海地方の海岸線は延長2,050kmに達し、北部は平坦な海岸線であるが、南部の海岸は屈曲に富み、特にビョートル大帝湾はナホトカ、ウラジオストクなどの湾を抱えて一大港湾地帯を形成している。

気候は、夏は海洋の影響を受けて高温の空気が浸入し曇った日が続き、冬は内陸の影響を受け、気温が低く乾燥して晴天が続く。

ウラジオストク市の年平均気温は4℃、年間降水量は831mmであり、極東の真珠とも呼ばれる美しい町並みを有しており、本年1月1日から対外開放された。

沿海地方の主力産業は、漁業、林業、鉱業等の資源開発型産業であり、また、陸、海運の交通輸送は、ロシア東部の窓口として重要な役割を担っている。農業は自然環境に恵まれ、極東第一の生産地域である。



# 平和と発展の海を目指して

——富山県・沿海地方友好提携締結——



平成四年八月二十六日、富山県とロシア連邦・沿海地方との間で友好提携が締結されました。富山県民会館で行われた調印式には、約三十名が列席、厳粛な雰囲気の中、中沖知事とクズネツォフ沿海地方知事が「相互の理解を深め、友好関係を一層発展させ、日露両国の友好関係の強化と国際社会の平和と安定に貢献する」旨の協定書に署名しました。

国際立県を目指す富山県の海外との友好提携は中国・遼寧省、ブラジル・サンパウロ州、アメリカ・オレゴン州に続いて四番目となり、また、沿海地方にとっても、中国・吉林省、黒龍江省に続いて三番目となり、特に西側諸国の自治体とは初の友好提携となります。調印式の後、両知事は「富山県と沿海地方は最良のパートナーである。双方が環日本海交流圏構築のリーダーとなって、日本海を平和と発展の海にしていくため、今後とも手をたずさえて人的、文化、経済交流を着実に進めていきたい。（中沖知事）」「われわれは地域間外交に大きな一歩を踏み出した。この協定は今後の関係発展に尽くすものと思う。今後とも人と人の良き関係を築



▲ジャパンエキスポ富山'92を見学（8月26日）



▲県内企業の視察（8月27日）



立山（室堂）で自然を満喫（8月27日）

### 富山県・沿海地方 友好提携記念パーティー



▲記念パーティーで鏡割（8月26日）